

＊＊ —岩手県立博物館テーマ展『比爪—もう一つの平泉—』パンフレット18頁—

3 比爪—奥州藤原氏第二の拠点— ③ 外縁遺跡

《七仏薬師如来立像(紫波町赤沢字田中)(1)》

薬師如来は病者を救い、苦しみを除くという現世利益的色彩の強い仏です。経典では、薬師如来は東方仏土の「浄瑠璃世界」に住すると説かれます。薬師如来はその分身である「善名称吉祥王如来」など六仏と合わせ、七仏薬師として造形されることがあります。

紫波町赤沢に所在する赤沢薬師堂には七仏薬師如来立像が安置されています。中尊は概ね四尺(約130cm)で、脇尊の六体は概ね三尺(約120cm)の立像です。いずれも右手は施無畏印(指をやや曲げ、掌を前方へ向けて挙げる相)で、左手は掌を上に向け薬壺を持っています。現状では肉身部が金色、着衣部が黒褐色、頭部が群青色に塗られていますが、これは近代以降なされた着色と推測されています。

材質は桂とされ、中尊のみ内割りが施されています。製作年代は12世紀代であり、奥州藤原氏の時代の仏像です。中尊、脇尊ともに、当初からのものである可能性が高く、全国的みても貴重な事例です。

《《《 5月～6月行事予定のお知らせ 》》》

5月15日 (水曜日)	第102回月例発表会	午後7時から午後9時まで 発表者：石幡 信 テーマ：発掘調査から見た平泉関連遺跡 発表者：大沢 斗志子 (こむらさき) テーマ：おたのしみ新作歴史講談
※1 例年6月に開催している定期講演会は、10周年記念行事の準備業務のため、本年度は開催しない予定です。ご了承ください。		
※2 月例発表会についても、例年どおりですが6月の開催はありませんので、ご注意ください。		

【会員投稿】 平成31年度定期総会に出席して

4月14日(日)の定期総会に出席しましたが、町内の諸行事と重なった事情があったにしても出席者が少ないと思いました。「継続は力なり」ではありますが、原点を顧み新しい10年に向けて改善を図ることは何かについて、本格的に検討べき時なのではないでしょうか。

着任したばかりの、赤石小学校高橋校長先生に出席していただき感謝でした。役員改選では、運営委員会で決めた選考委員会の候補者案が提案されました。副会長は留任の平井さんと、新任の大沼さん高野さんが加わり3人体制となりましたが、令和時代に入り新しい10年へのスタートに立つ意気込みが感じられました。

設立10周年記念事業は三部に分かれ、7月のシンポジウム、サミット、式典・祝賀会に始まり、9月の現地研修旅行、12月の講演会、資料集(特集号)発行と計画が続いています。特別会計予算額が一般会計予算額の4倍規模ですが、既に係と班それぞれ準備業務が進められているようなので、ゴールをめざして軌道を進んでほしいものです。

実行委員会組織の執行機関である幹事会の幹事長に箱崎さん、副幹事長に石幡さんが選任されましたが、他に考えられない適任者であるお二人の調整力で、各係・各班の連携が円滑になれば、この事業の成功は間違いないと確信しました。

